

「富富富」通信(第1号)

令和6年4月15日

JA アルプス「富富富」ブランド化推進協議会

「富富富」は今年で7年目となり、順調に需要が伸びています。「富富富」は、近年の高温条件下でも高い品質を得られますが、収量を求め過ぎると、品質や食味、収量の低下につながります。

栽培マニュアルに基づいた栽培管理を徹底し、県を代表するブランド米としての「富富富」生産に取り組みましょう。

みんなが一丸となって
本県を代表する
ブランド米に育てよう!!



1 育苗管理

- ・育苗日数が長く葉齢の進んだ**老化苗**を移植すると、**初期分けつの発生が少なくなります**。活力の高い苗に仕上げるため、**育苗日数（播種日から田植日）は18~21日を目安**にしましょう。
- ・富富富はコシヒカリに比べて芽の伸長速度が遅いため**コシヒカリに比べて1~2日長く浸種**しましょう。

令和6年用種子は、休眠が深く、芽のそろいがばらつく傾向があることから、**平年に比べ浸種日数を1~2日長く**しましょう。浸種完了の目安は、「**種子粉の胚乳がアメ色で透明になった頃**」とし、必ず確認しましょう。

- ・育苗期間が高温傾向のため、**積極的に換気を行い**、がっしりとした苗に仕上げましょう。

2 適切な田植作業の実施

- ・田植時期が早いほど乳白・心白粒が発生し、品質・食味総合値が低下する傾向にあります。品質・食味の高位安定化のため、田植は**5月15日を中心**に実施しましょう。
- ・苗を購入している場合は、**種子消毒剤と苗箱施薬剤の有無を必ず確認**しましょう。
- ・**栽植株数70株/坪以上、植付本数3~4本/株、植付深さ3cm程度**となるよう田植機を調整しましょう。
- ・代かきを行う際は、田面を均平にすることを意識し、田植後に苗が水没することを防ぎましょう。

流通基準違反は、県全体の信用失墜につながります。必ず守りましょう。

<流通基準>

- ・検査等級：1等
- ・化学合成農薬の成分使用回数：12以内

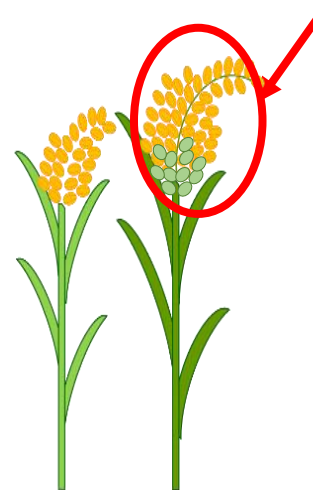
<品質目標>

- ・玄米水分 … 14.5~15.0%
- ・玄米蛋白含有率(水分15%換算値) … 6.4%以下

3 適正な基肥施用

- ・施肥窒素量が多いと**過剰籾数**となり、登熟がばらつく、くず米が多くなるなど、**収量や品質、食味が低下**します。
- ・施肥窒素量は、**収量レベル540kg/10aのコシヒカリの2割減を基本とし、過剰とならないように**しましょう。
- ・**気象条件や栽培管理によって玄米蛋白含有率は変動するため、これまでに6.5%以上になったことがある場合は、施肥量を減らしましょう。**

△施肥窒素量が多いと→**過剰籾数**となり、



- ・登熟のばらつきが大きくなる
- ・くず米が多く、収量は増加しない
- ・乳白、心白粒、青未熟粒が増える
- ・玄米蛋白含有率が高くなる

→**収量・品質、食味が低下**

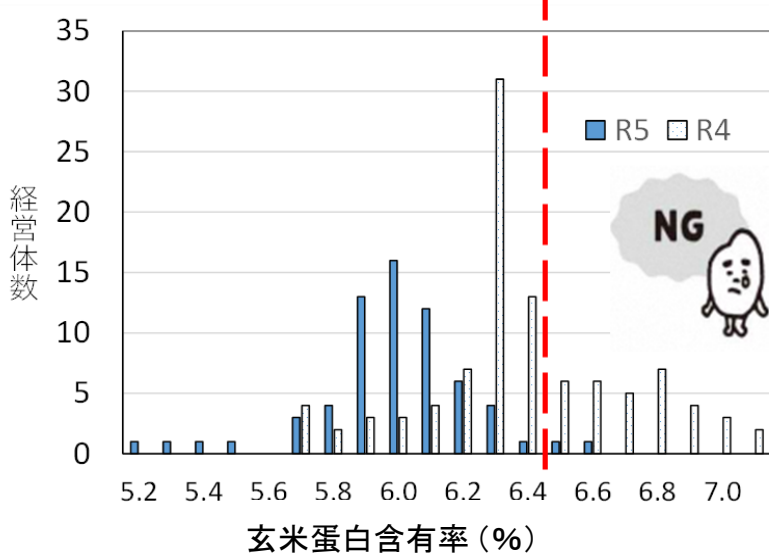


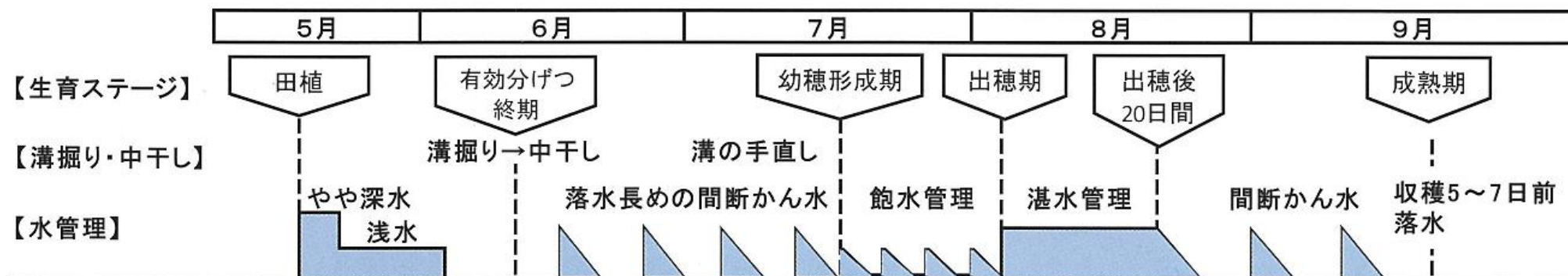
図 玄米蛋白含有率の分布

表 施肥基準

土壌区分	基肥一発体系		分施肥体系	
	肥料名	施肥量	肥料名	施肥量
砂壤土	富富富専用 全量基肥肥料 (21-10-19)	30kg/10a	基肥 206 (12-20-16)	27kg/10a
壤土 黒ボク土		25kg/10a		21kg/10a
粘質土		22kg/10a		19kg/10a

4 水管理のポイント

- ・田植後3日間程度はやや深水で活着を促進し、活着後は浅水管理により分けつの発生を促進しましょう。
- ・無効分けつの抑制、根圏の発達促進、適正な葉色への誘導のため、田植後4週間までに中干しを開始しましょう。
- ・適正籾数に誘導するため、幼穂形成期までは落水期間が長めの間断かん水を行きましょう。
- ・稲体や根の健全化のため、幼穂形成期から出穂期まで飽水管理を行きましょう。



5 化学合成農薬の使用について

- ・富富富は「化学合成農薬の使用成分数は12以内」を厳守する必要があります。田植前に再度使用状況、使用予定を確認しましょう。
- ・農薬の使用にあたっては登録内容を遵守するとともに、必ず成分数を確認しましょう。(防除体系は別紙参照)
- ・除草剤の効果を上げるため、除草剤散布後5日間は5cm程度の水深を保ち散布後7日間は落水しないてください。

○現在までの化学合成農薬の使用状況と今後の使用予定を下欄に記入しましょう。

- ・「生産計画・記録簿」に記入した内容から変更がないか確認しましょう。
- ・成分数は「令和6年産 富富富病害虫・雑草防除について」や農薬のラベル、農林水産省のHP「農薬登録情報提供システム」(<https://pesticide.maff.go.jp/>)を参考に記入してください。
- ・紋枯病防除にバリダシン粉剤DL、バリダシン液剤を使用した場合は、成分数に含めません。

区分	農薬名	成分数	区分	農薬名	成分数
育苗関係			本田防除		
苗箱剤					
除草剤			合計		

～春の農作業安全運動展開中～ 3/1～5/31
 農作業事故ゼロを目指して事故防止対策を徹底しましょう



次回の「富富富」通信(第2号)は、7月 7日頃の発行予定です。